

## 体験型海外教育実地研究

－第5学年総合的な学習「We love Hiroshima!」

We tell you our favorite places and things in Onomichi and Mihara. －

広島大学教育学研究科 丸子 保子

### 1 はじめに

私がこの体験型海外教育実地研究に参加させていただく事になったのは、全くの偶然であった。英語が苦手なものですねえなどという日常の会話から、英語のシャワーを浴びたり、英語の海で生活したら、(もしかしたら、少しは)英語がしゃべれるようになっていたり、英語に抵抗感がなくなったりするかもしれない、今度「海外教育実地研究」の説明会があるので話を聞くだけ聞いてみようということになった。説明会では、授業が出来る、その授業は教科に限らず、自分の研究に関わる事を取り上げて良いということであった。海外旅行の経験のない私にとっては、ノースカロライナに行き帰るだけでも重大事を感じられた。その上授業まで。私には無理、関係ない話だねと思いつつも、こんな経験二度と出来ないという思いや自分のやってきた研究に関わってアメリカの子ども達はどんな姿を見せてくれるのだろうかという思いが捨てきれず、ついには周りの迷惑顧みず「体験型海外教育実地研究」の旅に出発してしまったのである。

### 2 実地研究の日程と概要

		交通等	訪問地・用務地等	泊
4/11	火	履修等, 説明会 L304		
6/1	木	1330-1500 L304	第1回 事前研究	
6/29	木	1330-1500 L304	第2回 事前研究	
7/25	火	1800-1930 L304	指導案(英文)検討 7/28講演会・7/29学校間国際フォーラム打ち合せ	
7/28	金	1330-1420 C527	講演会 米国小学校教育事情(TAGとグローバル教育)	
7/29	土	1300-1630	広島県立生涯学習センター GPSC学校間国際交流フォーラム	
8/3	木	1330-1600 L304	第3回 事前研究 個別研究テーマ(授業実践研究)の交流と協議	
8/29	火	1330-1600 L304	第4回 事前研究 旅程確認・諸準備ほか	
9/3	日	広島-成田 0745-0925 NH-3128 成田-ワシントン 1110-1045 NH-2 ワシントン1344-1448 ローリー UA-7183		米国ノースカロライナ州 Greenville City Hotel & Bistro 203 W. Greenville Blvd, Greenville, NC 27834 TEL(877)271-2616 Toll Free(877)271-2616
9/4	月		East Carolina University 事前打ち合せと準備	Greenville 同上
9/5	火		7:20AM Mr.Bill Watoson pick up in front	Greenville 同上

		<p>of Bistro Hotel and transport the Wahl Coates group</p> <p>7:40 Arrival at Wahl Coates</p> <p>7:40-8:00 Observe in main office</p> <p>8:00 Morning Announcements over school intercom</p> <p>8:00 Observe,teach culture lesson Mrs.Watson's 4th grade (Pod C)</p> <p>9:00 MARUKO,Yasuko Grade 5 Lesson We love Hiroshima Favorite Places and Things in Hiroshima</p> <p>10:00 TAMESHiGE,Tomoka Grade 4 Lesson Let's play Bingo</p> <p>11:00 Observe,teach lesson Mrs.Watson's 4th grade (Pod C)</p> <p>12:00 LUNCH in the cafeteria</p> <p>13:00 Observe, Home Room Mrs.Watson's 4th grade (Pod C)</p> <p>13:30 TAMESHiGE,Tomoka Grade 4 Lesson Let's play Bingo</p> <p>14:15 Pick up and transport to ECU</p> <p>15:00 Meeting at Library &amp; 教材センター</p> <p>18:30 山口 T の日本語授業に参加</p>	
9/ 6	水	<p>7:45-8:15 Arrival</p> <p>8:00 Meeting for today's lesson 8:15 OSATO,Hiromi Grade 4 Lesson Let's draw Etegami</p> <p>9:15 MARUKO,Yasuko Grade 5 Lesson We love Hiroshima Favorite Places and Things in Hiroshima</p> <p>10:30 Interview with Mrs.Judy Frye-Counselor</p> <p>11:00 Interview with Mr. Sanderson, Principal</p> <p>12:00 LUNCH in the cafeteria</p> <p>13:00 Observe PE (auditorium) 13:30 Observe Art</p> <p>14:15 ECU Social Study</p> <p>15:30 教材店見学</p>	Greenville 同上
9/ 7	木	Raleigh着	米国ノースカロライナ州

			Exploris middle school 見学 Exploris 附属博物館	Raleigh Raleigh Marriott Crabtree Valley 4500 Marriott Dr., Raleigh, NC 27612 TEL (919)781-7000 FAX (919)781-3059
9/8	金	ローリー 1245-1350 ワシントン UA-7374	Washington DC着 15:15 ホテル着	Washington DC Beacon 1615 Rhode Island A ve, NW, Washington, DC 20036 TEL (202)296-2100 FAX (202)331-0227
9/9	土		ワシントン博物館到着 スミソニアン博物館見学 ・宇宙博物館・国会議事堂・植物博物館 ・リンカーン聖堂・ケネディ記念センター 18:00 演劇鑑賞	Washington DC 同上
9/10 9/11	日 月	ワシントン 1220-1520 成田 NH- 成田 1725-1900 広島 NH-3129		機中泊
9/29	金	事後指導 発表会		

### 3 実地研究授業

#### 3.1 単元名 第5学年 We love Hiroshima!

We tell you our favorite places and things in Onomichi and Mihara.

#### 3.2 事前準備

授業するに当たっては、先ず、何かのかたちで自分の研究（小学生のもつ「地域」・「郷土」イメージについて）と重ね合わせる部分を作りたいという希望があった。ノースカロライナの子どもたちは、私たちの暮らす日本や広島についてどんなことを知っていて、どんな思いを持っているのだろうか。はたまた何も知らないし、興味や関心もないのであろうかと様々なことを考えてみた。

結局、広島（具体的には尾道や三原）のよいところを知らせることで、興味・関心をもってもらい、結果そのことが日米を繋ぐ草の根としての働きをするのではないかと考えるに至った。

そこで、三原のS小5年生には地域のよいところを紹介してもらい絵をかいてもらった。また、尾道のN小学校で行われた総合的な学習の時間の内容の中から、地域や郷土の香りがする

文化や伝統的なものを中心にビデオ作成を行った。

研修の中で、子どもの持続力を考えるとビデオの枚数は20くらいがよかろうと示唆をいただいた。ストーリー性を持たせることで授業で手紙を書いてもらえるように組むことも可能との示唆もいただいた。私の授業を通して、ノースカロライナの子どもたちが日本や広島をどのように受けとめてくれたかを、何かのかたちで知りたいと願っていた私にとっては有難い示唆であった。

### 3. 3 学習指導案

(title) We love Hiroshima!

We tell you our favorite places and things in Onomichi and Mihara.

(target) Education Lesson Plan for 5rd Graders

(subject) Comperhensive learning

(purpose of the present lesson)

- To know about favorite places and things in Onomichi and Mihara.
- To be interested in Hiroshima Prefecture in Japan.

(preparation article/equipment)

- personal computer & projector
- Global map
- Japanese map
- Hiroshima Prefecture map
- pictures, photos and the video in Onomichi and Mihara
- lettersheet

#### teaching process

Step	Learning Activities & the examples of children's idea	Teaching Activitis & discussoin questions
1 Introduction of Japan and Hiroshima	Children listen to telling of Japan and Hiroshima Prefecture.	Teacher shows 3maps and tell about Japan and Hiroshima Prefecture ( Global map, Japanese map, Hiroshima Prefecture map)
2 Answer from Children	Children speak what image of Japan or Hiroshima they have.	Teacher asks image of Japan or Hiroshima to children. 「What do you image when you hear "Japan" or" Hiroshima"?」
3 Telling the culture and the tradition of Japan in Onomichi and Mihara	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Children listen to telling about favorite places and things in Mihara.</li> <li>• Children watch the video that shows them the school life in Onomichi.</li> </ul>	Teacher tells about favorite places and things in Mihara.  Teather introduces the school life in Onomichi.
4 Ending	Children write their impressions on the lettersheet.	「Please write your impression on the lettersheet.」

### 3. 4 授業の実際

授業に入る前に、簡単な自己紹介を行った。どんな思いや目標をもってノースカロライナにやってきたかを子どもたちに伝えた。

Step1 世界地図を使って、アメリカやノースカロライナの位置や日本や広島的位置を確認した。

Step2 子どもたちに「日本」とか「広島」と聞いてどんなことをイメージするか尋ねた。

・ Answer from a child 「I think about like ... the big towers like you have and like great trees about ...」

・ Answer from a child 「I think about Mt.Fuji.」(写真1)

アメリカ(含ノースカロライナ)の広さや人口について日本と比べながら、また、子どもたちの知っている(かもしれない)自動車産業や企業名に触れ、アメリカと日本とが強く結びついていることを伝えた。

Step3 日本地図や広島県地図を使って、日本や広島の特徴や様子を簡単に伝えた(写真2)後、三原の子ども達のお薦めの場所や出来事(行事)を絵や写真で紹介した。その後、尾道の小学校で行われた総合的な学習の中で、日本の伝統・文化に関わるもの等をビデオ(写真3)で紹介した。

Step4 日本から持ってきた手紙(資料1)を読んだ後、日本の友だちに返事を書くかたちで今日の授業の感想を求めた。(写真4)



(資料1) 桜の花を印刷した用紙

Dear friends in the NC  
Hello! How are you doing?  
We live in Onomichi & Mihara.  
The mountains and the sea are so beautiful here.  
There're lots of old temples and shrines in our cities.  
We like our cities so much!  
I'd like to know about yourselves and your city.  
Hope to hear from you soon.  
the fifth graders in Onomichi &Mihara

### 3. 5 考察

学校訪問前日の打ち合わせ会の際、希望学年の確認があった。私は5年生を希望した。もし5年生以下の学年であったなら、内容自体が理解できなかつたろうと思われたので、5年生で授業が出来たことは幸運であった。

授業を行った5-2は27人のクラスで、そのうち21人の返事を受け取った。授業時間内に返事を書き終えることが出来なかつたため、翌日受け取ることとなった。Whal - Coates 小の窓口として世話をしてくださった4年生の Mrs.Watson のクラスには宿題黒板があり、連絡帳らしきものに子ども達が宿題を書いていた。そこで、この5-2クラスでも宿題で返事を書いて来て、それを私が受け取ったのではないかと思われた。

21人中、日本(の文化や伝統等)に触れているものは15人、自分(やノースカロライナ)の紹介のみのものは6人であった。その6人も名前の前に、Love(2人) Your Friend(1人)

Scincerely（1人）を付けてくれていた。名前のみは2人だけであった。三原や尾道の友だちに返事を書こうということで今日の授業の感想を求めたが、多くの子どもたちが日本に興味をもってくれた。また、日本の文化も学びたいし、自分たちの文化も学んでほしいと述べている子どももいて素晴らしいと感じた。中には手紙に「What is it like in Japan?」と次の返事を求めるとも思える内容もあったし、「Our culture is very very different from yours.」と文化の違いをきちっと見取っている子どもが「I would like to see the chery blossoms.」と結んでいたものもあった。

<子ども達からの手紙>

Dear Friends

I hope some day I can visit Japan. We have a big school here in Grennville North Carolina. We started school on August 28.2006. I had a great summer. I hope you had a great time. My name is Kate Kilcoyne. I live 2 blocks away from my school Whal — Coates. There are 27 children in our class. My teachers are Mrs.Barnes and Miss Barefoot there the best. I would love to see a live monkey. And I love monkeies there the best. I hope you visit the U.S.some day. From 5TH Gradeis

Dear Friends

I really enjoyed the letter you sent. In North Carolina it has been raining very hard and some places have flooded! My name is Joshua Allen. Some of my favorite foodsare:cakes,macorrioni and cheese, as well as steak. My favorite color is red. Some festivals we have are: The Collaed festival, food eating contests as well as buety pagents, To get to school most people take buses but some of the people ride in cars, and very few stay afterschool and do other activit. I enjoyed learning about your culture and I hope you enjoy learning about mine. With All Dve Respect Joshua Allen

#### 4 体験型教育実地研究における自己変容

##### 4. 1 教育観の変容

多民族で成り立っている国家故か、これからの theU.S の在り方を施策として考える時、学区（校区）の変更は特別珍しいことではないようである。Whal — Coates 小を訪問させていただいた日々（9/5, 9/6）は新年度が始まって間もないときであり、学区（校区）の変更もあって、今まで Whal — Coates 小に通って来ていた子どもが別の学校に行き、今まで Whal — Coates 小に通っていなかった子ども達がやって来るという大変な時期であった。加えて学校長も Whal — Coates 小に転勤してこられたばかりと聞いた。これからの Whal — Coates 小が目指す教育を、学校長を中心に一丸となって行っていくための話し合いがなされるであろう学校にとっては本当に大事な大切な時期であったことを思うと、快く迎えて下さった先生方に心より感謝したいと思った。

「一人の子どもも後に残さない」教育を学校長は強く語られた。子どもを思う気持ちはノースカロライナも広島も、アメリカも日本も変わりはない。先生方は子ども達を目の前にして寸暇を惜しむように動かれていた。環境や条件、状況等によって教育に求められるものの優先順位が変わるのだと感じた。保護者の方々が学校で清掃等をするなど、協力の様子も目にする事が出来た。広い中庭もきれいに整備されていた。

#### 4. 2 自分自身についての変容

この度の「体験型海外教育実地研究」はノースカロライナのよいところを出来るだけたくさん見つける旅でもあったが、それは取りも直さず日本の伝統文化だけでなく、大学生活を含めた日々の生活を外から見つめる旅でもあった。取り立てて比べるものもなく、ただ漫然と過ごしてきた時間や環境について、見直す機会を与えられたと思っている。

#### 4. 3 グローバルマインドに関する変容

4年生の授業参観のとき、ある女の子から「私は中国人よ。あなたは日本人？」ときかれた。彼女はどんな思いで私に尋ねたのだろう。私自身、この場面を強く記憶している。彼女にその理由をきくチャンスもなかったが、私にはこの一場面がグローバルマインドに直接関わる場面ではないかと思えてならない。

これからの時代は「グローバル」に物事を見て考えていかなければならないということはよく耳にすることであるが、「グローバル」を「マインド」で包まなくては互いに分かり合えないし関わりを円滑にできないように感じた。ともあれ、実際にアメリカは存在した。そこには様々な子どもたちの、様々な人たちの日常があった。

### 5 おわりに

今回の旅は瓢箪から駒がでたような旅であった。海外渡航の経験のない私は、本当に多くの方々の協力を得て、やっと出発が迎えられた。協力をいただいた方々に、お土産話が出来るように元気でノースカロライナに行って帰りたいと願った。が、準備は万全とは言えず、機内でもまだ授業をイメージしての英語練習をしなければならない始末であった。その点では、成田ーワシントン間の12時間30分は有難かったかなと思う。機内食もよく考えられているなど感心したりした。

グリーンビル到着の翌夕、授業の打ち合わせ会があった。9/4のことである。Whal - Coates 小の代表としてこられた4年生担任の Mrs.Watson 先生は学生一人ひとりの希望をきいて下さったし、質問もしっかり受けて下さった。私たちの思いがうまく伝えきれないときには深沢先生が補足して下さり助かった。納得出来る授業をしたいという思いが通じ合えた打ち合わせ会であったと感じている。私にとっては有意義な会であった。

後日、学校が始まったのが8/28で、打合会が9/4、学校訪問・授業実践が9/5・9/6であったことを知り、加えて学区(校区)の変更や学校長の転勤など、私たちを迎え入れる時がこのような状況であろうとは予想されていなかったのではないかと、そういった中でも快く迎え入れて下さった校長先生をはじめとして先生方に深く感謝している。また、英語が十分でない私は、Whal - Coates 小の学校要覧のようなものを手にしていたら、もう少しは様々なことの内容理解が出来たのではないかと、後で悔やまれた。

ECU の校内見学や授業参観(参加)も興味深かった。図書館で見た大きな本や教材作成に関わっての工夫等興味は尽きない。教材ストアのような店に行けたのもよかった。

ワシントンDCは美しい街であった。国会議事堂やホワイトハウスなどアメリカの中核部分を目にすることが出来た。またスミソニアン博物館に行くことも出来、戦争当時の様子等に触れることが出来たのも、広島県に暮らす者としてよかったと思っている。

振り返ってみれば、何と多くの方々の協力をいただいたことであろう。数え切れない程である。アメリカのことを知れば知るほど日本のことを再認識するようになった自分がいた。ノースカロライナのよさを見つけることはすなわち日本や広島のよさを見つけることでもあった。

「一期一会」のような、最初で最後の授業であったが、子ども達の多くは日本（や広島）に興味関心を示したくれた。いつの日か日本を訪れてみたいとも書いてくれた。この子たちも外から故郷をみたとき、強くアメリカや hometown を意識するにちがいない。同じように日本の子どもたちも新たな目で日本や郷土を意識するであろう。そういった意味からも多くの方々に門戸を開き、学びの機会を与えていただきたいと願い、益々の GPSC の発展を祈念している。



(写真 1)  
質問に答える子ども



(写真 2)  
日本の特徴を簡単に伝える



(写真 3)  
We love Onomichi!のビデオを見る



(写真 4)  
返事を書く子どもたち